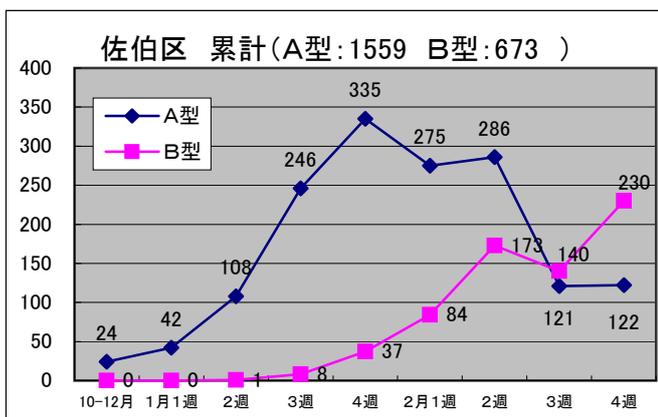
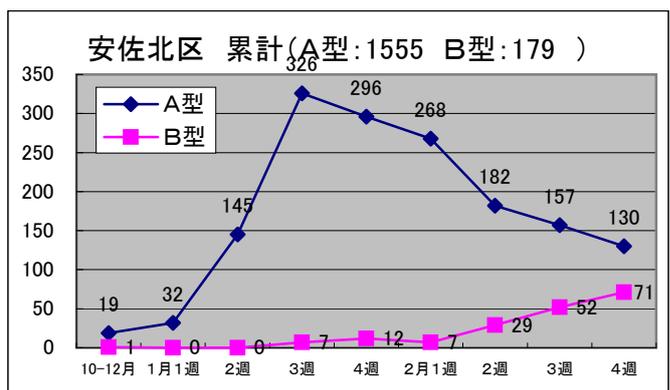
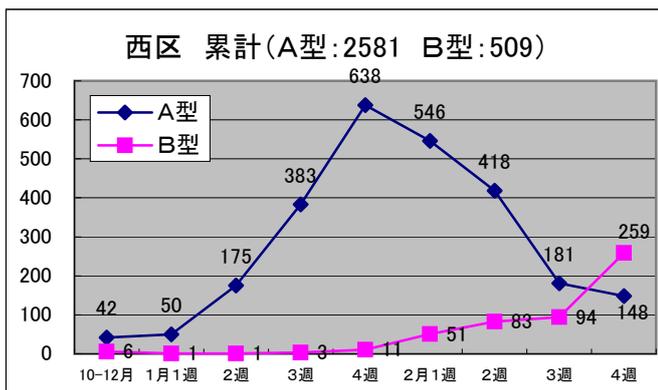
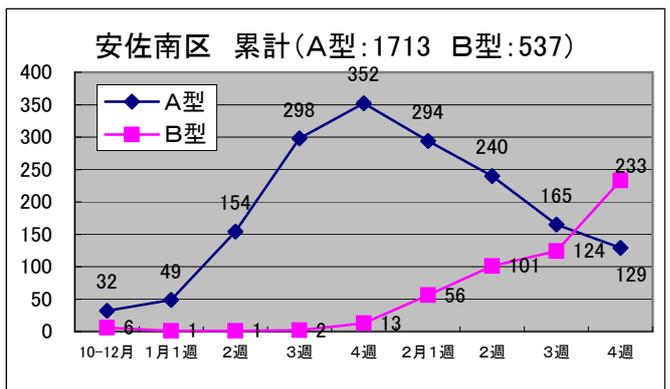
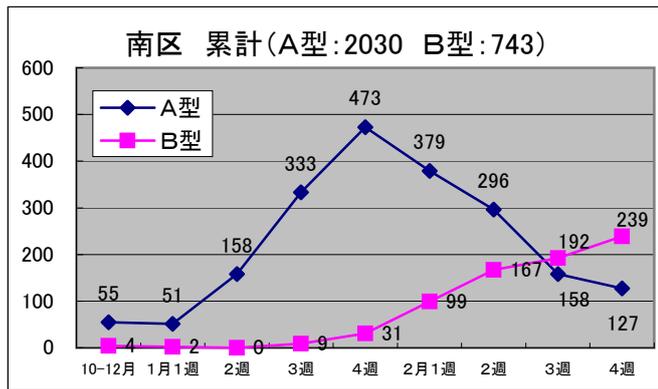
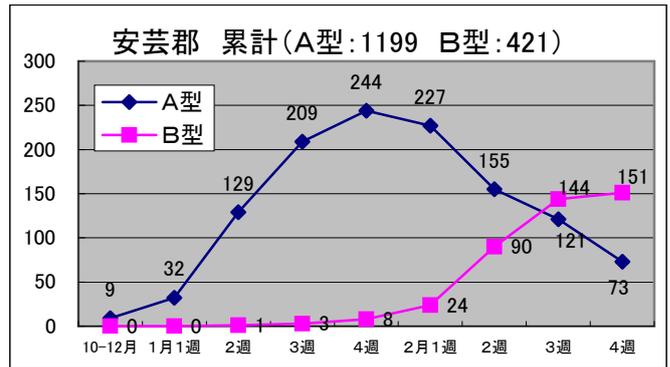
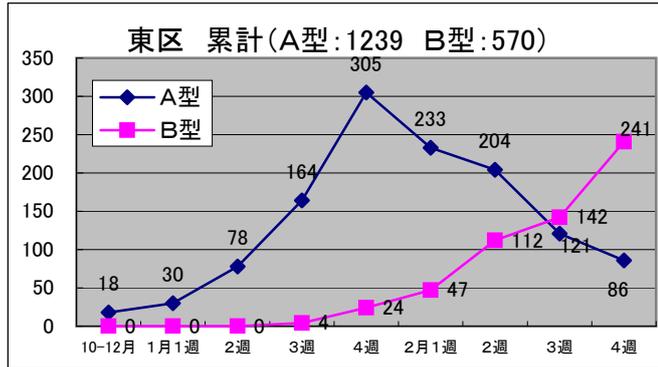
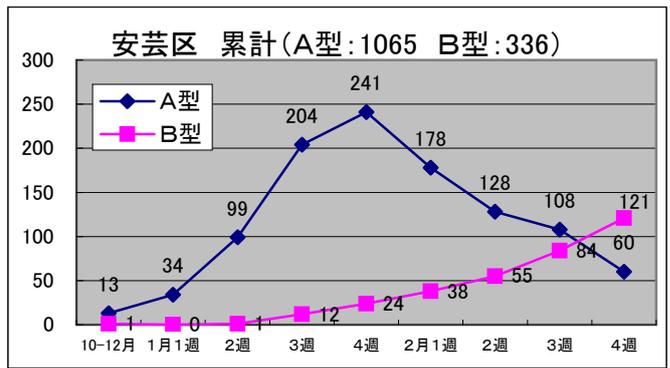


# インフルエンザ発生動向調査 患者居住区別推移

集計期間（平成22年10月～23年2月4週まで）



東区・南区・佐伯区・安芸郡は2月第三週に、中区・西区・安芸区・安佐南区は第四週にB型とA型の週間報告数が逆転しました。  
 A型は各区ともピークを超え、減少傾向にあります。対してB型は引き続き増加傾向にあります。  
 今後も「広島市医師会インフルエンザ発生動向調査」にご協力のほどよろしくお願いいたします。